

① 先生のご意見の骨子を箇条書きにしてください (5行以内)。

低線量でもリスクがあるとする考え方は、リスク低減し健康影響を予防するため放射線の防護基準は、安全か危険かの境界ではなく、線量低減のための目標個人の線量に関する分かりやすい情報の提供、放射線の不安に対するケアの充実が大切

② 先生のご意見の根拠となった文献を10編列挙して下さい (10編以内)。

- 1) UNSCEAR 2008 Report, UNSCEAR 2000 Report
- 2) ICRP Publication 99
- 3) ICRP Publication 103
- 4) ICRP Publication 111
- 5) Preston D et al: Solid cancer incidence in atomic bomb survivors: 1958-1998. Radiation Research 168, 1-64, 2007.
- 6) Land CE : Lauriston S. Taylor Lecture: Radiation Protection and Public Policy in an uncertain world. Health Physics 101 (5), 499-508, 2011
- 7) Raabe OG : Toward improved ionizing radiation safety standards. Health Physics 101 (1), 84-93, 2011
- 8) Ron E : Thyroid cancer after exposure to external radiation: A pooled analysis of seven studies. Radiation Research 141, 259-277, 1995
- 9) Cardis E et al. : Risk of thyroid cancer after exposure to I-131 in childhood. JNCI 97, 724-32, 2005.
- 10) Tronko MD, et al. : A cohort study of thyroid cancer and other thyroid disease after the Chernobyl accident: Thyroid cancer in Ukraine detected during first screening. JNCI 98, 897-903, 2006.

③ 国民、特に福島県民の方々がご理解頂けるように、できるだけ平易な言葉で先生のご意見を400字程度でまとめて下さい。

原発事故によって放射性物質で汚染された生活環境を早く回復し、安心した元の生活に戻るための対策が急がれます。低線量の放射線被ばくは土壌汚染からの放射線と食品からの摂取が主たる経路となります。そのとき、線量がリスク管理の指標となりますので、線量を把握することが大切です。しかし、最も心配なことは放射線の不安から心身が不健康になることです。不安なことは市町村保健所などで相談を受けてください。その際、線量や健康に関する情報を丁寧に説明してもらえ信頼関係を作ってください。事故からの復旧は日本全体の問題でもあり、国をあげて応援していることを信じて、東日本大震災のすべての被災者の方々と共に乗り越えていただくことを願っています。